



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 9048 URL <http://www.meitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 亜土

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長

(氏名) 内田 亙

TEL (052)588-0846

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	285,942	2.8	14,031	30.2	12,619	48.5	6,594	439.1
24年3月期第2四半期	278,194	△4.3	10,772	△21.9	8,496	△26.7	1,223	△71.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,948百万円 (499.9%) 24年3月期第2四半期 324百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.50	7.19
24年3月期第2四半期	1.39	1.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	1,111,609	220,314	18.3
24年3月期	1,132,697	220,246	18.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 203,234百万円 24年3月期 203,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	603,000	△0.1	29,500	2.6	25,400	3.2	12,000	9.1	13.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	881,584,825 株	24年3月期	881,584,825 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	2,432,599 株	24年3月期	2,395,219 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	879,175,974 株	24年3月期2Q	879,222,393 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しています。

(参考)

平成25年3月期の個別業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	99,300	1.2	13,100	3.6	11,000	5.7	4,600	10.8	5.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
決算説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とし緩やかな回復傾向が見られたものの、欧州債務危機問題や日中関係の悪化など景気の先行きに対する不透明感は続き、依然として厳しい状況の中で推移しました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は2,859億42百万円(前年同期比2.8%増)となり、営業利益は140億31百万円(前年同期比30.2%増)、経常利益は126億19百万円(前年同期比48.5%増)、四半期純利益は65億94百万円(前年同期比439.1%増)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①(交通事業)

鉄軌道事業については、当社では、通勤型車両4000系を16両新たに導入したほか、本年4月にICカード「manaca」と東海旅客鉄道(株)の「TOICA」との相互利用を開始し、さらに平成25年春に実施予定の東日本旅客鉄道(株)の「Suica」をはじめとした全国相互利用に向けて関連する機器やシステム等の開発を進めました。営業施策面では「夏の犬山キャンペーン」など沿線自治体とタイアップした沿線都市キャンペーンを積極的に展開し、地域の魅力を伝えるとともに旅客の需要喚起に努めました。また駅時刻表や駅周辺情報(manaca加盟店・名鉄協商駐車場)の検索、ダイヤ検索、ICカード「manaca」の残額照会などを行うことができるスマートフォンアプリ「名鉄Touch」のサービスを9月に開始し、利便性の向上を図りました。

バス事業については、名鉄バス(株)では、新路線「真伝循環線」を運行開始するなど新たな需要喚起に努めるとともに、自転車利用者や歩行者に対してバスの接近をお知らせする車外向け注意放送装置を全車両に導入するなど安全対策に努めました。また高速バス「名古屋・新宿線」「名古屋・松本線」車両へ「Sクラスシート」の導入を進めるなどして付加価値を高め、高速バス事業におけるサービスの向上に努めました。

この結果、前年同期に震災による出控えの影響を受けたことの反動もあり、鉄軌道事業やバス事業における輸送人員が増加したことなどから、交通事業の営業収益は790億57百万円(前年同期比1.4%増)となり、営業利益は80億80百万円(前年同期比34.0%増)となりました。

②(運送事業)

トラック事業については、名鉄運輸(株)グループを中心にグループネットワーク強化を推進し配送網の整備と配送エリアの見直しや輸送品質の向上にも取り組み、収益性の向上および事業の効率化に努めました。

海運事業については、太平洋フェリー(株)では前年同期に震災の影響により休止のあった一般旅客営業が全面的に回復し、旅客輸送が大きく増加したほか、往復バック商品の航路の拡大や早割利用の予約内容の変更を可能にするなどの利用促進策を積極的にを行い、収入の回復を図りました。

この結果、運送事業の営業収益は672億94百万円(前年同期比0.6%増)となり、燃料費の減少に加え諸経費の削減にも努めたため、営業利益は25億10百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

③(不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では、「名鉄バスターミナルビル」の賃貸用フロアの有効活用を図るため、リニューアル工事を進め新テナントを誘致しました。また(株)中部経済新聞社などと共に建設を進めてきた名古屋駅前のオフィスビル「名古屋クロスコートタワー」の供用を7月に開始しました。不動産分譲業については、分譲団地「名鉄 陽なたの丘」の販売を引き続き進め、新街区となる「蒼空の街」の販売を9月に開始しました。また名鉄不動産(株)では愛知県知多市新舞子において分譲住宅の開発を進め、「新舞子オーシャンコースト」の販売を7月に開始しました。

この結果、不動産賃貸業が好調に推移し、不動産分譲業で分譲土地の一括販売があったほか、分譲マンションの販売引渡戸数が前年に比べ増加したことなどにより不動産事業全体では、営業収益は346億60百万円(前年同期比16.9%増)となり、営業利益は25億円(前年同期比0.3%増)となりました。

④(レジャー・サービス事業)

ホテル業では、大口団体宿泊の獲得や前年同期の震災による影響の反動もあり、多くのホテルで増収となったものの、一部子会社を売却したことにより減収となりました。

観光施設については、ハイウェイレストランでの前年同期のETC休日割引終了に伴う駆け込み需要の反動による利用者数の減少や一部子会社を売却したことにより、観光施設全体では減収となりました。

旅行業では、インバウンドビジネスを推進するため「昇龍道」を機軸にした新たな観光ルートの構築とセールスを推進

するなど旅客誘致を図りました。また震災による旅行のキャンセルや出控えの影響を受けた前年同期から国内・海外旅行ともに取扱高が増加しました。

レジャー・サービス事業全体では、営業収益 263 億 12 百万円（前年同期比 0.2%増）となり、営業損益は前年同期に比べ 8 億 77 百万円収支改善し、3 億 39 百万円の利益となりました。

⑤（流通事業）

百貨店業については、インバウンドビジネス推進や各催事の開催などの顧客誘致の取り組みや、引き続き新規顧客の開拓やお客様の利便性向上を図りましたが、消費者の節約・低価格志向が続き、減収となりました。また、石油製品販売において販売単価の下落があったため前年同期比で減収となりました。輸入車販売においては店舗数の拡大に伴い販売台数が増加するなど好調に推移しました。

この結果、流通事業の営業収益は 681 億 22 百万円（前年同期比 0.5%増）となり、営業損益は前年同期に比べ 7 億 16 百万円収支改善し、1 億 95 百万円の利益となりました。

⑥（その他の事業）

その他の事業では、設備工事や保守整備事業が増収となったほか、震災の影響からの国際線利用客回復に伴い機内食調製が好調に推移しました。

この結果、全体の営業収益は 315 億 75 百万円（前年同期比 5.3%増）となりましたが、リース業での原価の増加などもあり、営業利益は 1 億 18 百万円（前年同期比 74.6%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末においては、総資産が前連結会計年度末に比べ 210 億 87 百万円減少しております。これは主として未収債権の回収などにより受取手形及び売掛金が 112 億 91 百万円、保有する上場株式の時価下落などにより投資有価証券が 82 億 54 百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

また、負債の部は前連結会計年度末に比べ 211 億 55 百万円減少しております。これは主として、工事負担金等前受金を含む流動負債その他が 54 億 15 百万円増加した一方で、支払等により支払手形及び買掛金が 161 億 84 百万円、有利子負債が全体で 92 億 49 百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ 67 百万円増加しております。これは主として、その他有価証券評価差額金が 56 億 62 百万円減少した一方で、利益剰余金が 29 億 3 百万円、土地再評価差額金が 25 億 50 百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

また、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 3 億 10 百万円増加し、93 億 41 百万円となりました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益が改善したことに加え、売上債権の増減額が減少したことなどにより前年同期に比べ 102 億 49 百万円増加し 283 億 91 百万円となり、投資活動によるキャッシュ・フローは、工事負担金等受入による収入が減少したことなどにより 67 億 84 百万円減少し△160 億 16 百万円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ短期借入金の増減額が減少したことなどにより 36 億 24 百万円減少し、△120 億 65 百万円となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の連結業績につきましては、日中関係や景況感の悪化など景気の先行きに対する不透明感もあり、個人消費の低迷に伴う流通事業、レジャー・サービス事業などのマイナス要因が懸念されますが、不動産事業における分譲土地の一括販売があったほか、分譲マンションの販売が好調に推移する見通しであることに加え、全社的な諸経費の削減効果も表れています。

現時点での通期の業績予想については、第2四半期までの業績も踏まえ、営業収益は 6,030 億円（前期比 0.1%減）、営業利益は 295 億円（前期比 2.6%増）、経常利益は 254 億円（前期比 3.2%増）、当期純利益は 120 億円（前期比 9.1%増）と平成 24 年 5 月 10 日発表時からそれぞれ見直いたします。また、個別の通期業績予想についても、営業収益は 993 億円（前期比 1.2%増）、営業利益は 131 億円（前期比 3.6%増）、経常利益は 110 億円（前期比 5.7%増）、当期純利益は 46 億円（前期比 10.8%増）と平成 24 年 5 月 10 日発表時からそれぞれ見直いたします。

上記の予想は、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,755	10,107
受取手形及び売掛金	62,495	51,203
短期貸付金	8,551	8,327
分譲土地建物	66,748	64,854
商品及び製品	7,386	7,717
仕掛品	418	890
原材料及び貯蔵品	3,801	3,901
繰延税金資産	7,056	6,255
その他	11,637	12,608
貸倒引当金	△448	△343
流動資産合計	177,402	165,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	332,987	327,719
機械装置及び運搬具(純額)	64,347	64,508
土地	372,344	370,896
リース資産(純額)	9,785	9,321
建設仮勘定	51,967	54,443
その他(純額)	8,642	8,345
有形固定資産合計	840,074	835,236
無形固定資産		
のれん	379	341
リース資産	1,487	1,463
その他	10,402	10,619
無形固定資産合計	12,269	12,424
投資その他の資産		
投資有価証券	74,565	66,311
長期貸付金	368	345
繰延税金資産	12,847	16,554
その他	17,214	17,259
貸倒引当金	△2,045	△2,044
投資その他の資産合計	102,951	98,426
固定資産合計	955,295	946,087
資産合計	1,132,697	1,111,609

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	70,769	54,584
短期借入金	191,223	198,762
1年内償還予定の社債	15,000	—
リース債務	3,052	3,312
未払法人税等	3,529	3,381
繰延税金負債	20	—
従業員預り金	18,590	18,409
賞与引当金	5,219	5,633
商品券等引換引当金	1,785	1,799
その他	86,766	92,181
流動負債合計	395,957	378,065
固定負債		
社債	120,000	120,000
長期借入金	263,398	262,408
リース債務	9,008	8,131
繰延税金負債	3,839	3,842
再評価に係る繰延税金負債	64,451	64,396
退職給付引当金	30,260	29,122
役員退職慰労引当金	1,947	1,522
整理損失引当金	2,885	2,850
商品券等引換引当金	147	126
負ののれん	22	9
その他	20,532	20,819
固定負債合計	516,493	513,229
負債合計	912,450	891,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,185	84,185
資本剰余金	18,428	18,428
利益剰余金	34,253	37,156
自己株式	△746	△754
株主資本合計	136,120	139,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,313	1,650
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	60,077	62,628
為替換算調整勘定	△63	△61
その他の包括利益累計額合計	67,327	64,217
少数株主持分	16,798	17,080
純資産合計	220,246	220,314
負債純資産合計	1,132,697	1,111,609

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業収益	278,194	285,942
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	241,767	247,247
販売費及び一般管理費	25,653	24,664
営業費合計	267,421	271,911
営業利益	10,772	14,031
営業外収益		
受取利息	62	51
受取配当金	605	755
持分法による投資利益	651	642
雑収入	1,321	1,356
営業外収益合計	2,641	2,806
営業外費用		
支払利息	4,526	4,007
雑支出	390	211
営業外費用合計	4,917	4,219
経常利益	8,496	12,619
特別利益		
固定資産売却益	280	453
工事負担金等受入額	800	238
投資有価証券売却益	19	176
その他	301	176
特別利益合計	1,401	1,045
特別損失		
固定資産売却損	48	63
減損損失	3,379	1,262
固定資産除却損	161	264
工事負担金等圧縮額	738	211
投資有価証券評価損	56	659
その他	373	493
特別損失合計	4,758	2,954
税金等調整前四半期純利益	5,140	10,709
法人税、住民税及び事業税	3,331	3,275
法人税等調整額	112	398
法人税等合計	3,444	3,673
少数株主損益調整前四半期純利益	1,695	7,035
少数株主利益	472	441
四半期純利益	1,223	6,594

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,695	7,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,334	△5,494
土地再評価差額金	—	619
為替換算調整勘定	△1	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△214
その他の包括利益合計	△1,370	△5,087
四半期包括利益	324	1,948
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81	1,552
少数株主に係る四半期包括利益	405	396

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,140	10,709
減価償却費	20,262	19,641
減損損失	3,379	1,262
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△760	△692
賞与引当金の増減額(△は減少)	375	441
その他の引当金の増減額(△は減少)	△1,500	△607
投資有価証券売却損益(△は益)	55	482
売上債権の増減額(△は増加)	1,870	5,888
たな卸資産の増減額(△は増加)	△763	1,550
割増退職金	64	163
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,903	△8,073
その他	3,030	3,701
小計	24,249	34,468
利息及び配当金の受取額	882	1,011
利息の支払額	△4,565	△4,091
割増退職金の支払額	△66	△8
法人税等の支払額	△2,358	△2,989
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,141	28,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△26,352	△26,328
固定資産の売却による収入	1,426	1,049
投資有価証券の取得による支出	△746	△436
投資有価証券の売却及び償還による収入	189	42
連結範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による支出	—	△252
工事負担金等受入による収入	15,431	9,030
その他	818	879
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,232	△16,016
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	18,661	15,445
長期借入れによる収入	21,325	22,477
長期借入金の返済による支出	△45,670	△31,543
社債の発行による収入	14,911	—
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
配当金の支払額	△1,314	△1,749
その他	△1,353	△1,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,441	△12,065
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	467	310
現金及び現金同等物の期首残高	8,102	9,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,569	9,341

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	76,802	66,620	26,790	25,874	61,461	20,643	278,194	—	278,194
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,143	255	2,863	386	6,353	9,341	20,342	△20,342	—
計	77,946	66,876	29,653	26,260	67,814	29,984	298,537	△20,342	278,194
セグメント利益又は損失(△)	6,030	2,440	2,492	△537	△520	465	10,370	402	10,772

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益又は損失の調整額402百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	77,902	67,042	31,242	25,892	61,489	22,372	285,942	—	285,942
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,154	252	3,418	419	6,632	9,203	21,081	△21,081	—
計	79,057	67,294	34,660	26,312	68,122	31,575	307,023	△21,081	285,942
セグメント利益	8,080	2,510	2,500	339	195	118	13,744	286	14,031

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益の調整額286百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

決算説明資料

平成25年3月期第2四半期連結決算について

前年同期の東日本大震災の影響からの反動もあり、営業収益は前年同期比2.8%の増収となり、営業利益は30.2%、経常利益は48.5%、四半期純利益は439.1%とそれぞれ増益。営業収益は5期ぶりの増収、営業利益・経常利益及び四半期純利益はそれぞれ2期ぶりの増益。

(連結業績関係)

<連結子会社数：130社（前期末比 △5社） 持分法適用会社数：15社（前期末比 -）>

(1) 営業収益 2,859億42百万円 前年同期比+77億47百万円 +2.8%の増収

輸送人員の増加した交通事業や分譲業・賃貸業ともに好調であった不動産事業をはじめ全事業で増収。

(2) 営業費 2,719億11百万円 前年同期比+44億89百万円 +1.7%の増

分譲不動産の売上増に伴う分譲原価の増加や業務委託料の増加により増。

(3) 営業利益 140億31百万円 前年同期比+32億58百万円 +30.2%の増益

(主な事業別)

交通事業では、鉄軌道事業で輸送人員増加により増収、バス事業でも震災の影響からの反動もあり増収。減価償却費等の減少もあり増益。

運送事業では、海運事業で震災の影響からの反動もあり増収、燃料費の減少等もあり、全体では増益。

不動産事業では、不動産分譲業においてマンションの販売引渡戸数が前年同期に比べ増加、不動産賃貸業で新規テナントの取込などにより増収となり、全体では増収・増益。

レジャー・サービス事業では、観光施設で一部子会社売却などにより減収となったものの、旅行業では取扱旅客数が増加するなど、全体では増収となり収支改善し、黒字化。

流通事業では、百貨店で減収となったが、輸入車販売において売上が増加し、全体では増収。人件費をはじめとした諸経費の削減もあり収支改善し、黒字化。

(4) 経常利益 126億19百万円 前年同期比+41億22百万円 +48.5%の増益

営業外損益は、受取配当金の増加に加え、支払利息の減少により8億63百万円収支改善。

(5) 四半期純利益 65億94百万円 前年同期比+53億70百万円 +439.1%の増益

特別利益で固定資産売却益、投資有価証券売却益がそれぞれ増加したことに加え、特別損失で減損損失が減少し、四半期純利益は増益。

①連結業績

科 目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	278,194	285,942	7,747	2.8
営業費用	267,421	271,911	4,489	
営業利益	10,772	14,031	3,258	30.2
営業外収益	2,641	2,806	165	
営業外費用	4,917	4,219	△ 698	
経常利益	8,496	12,619	4,122	48.5
特別利益	1,401	1,045	△ 355	
特別損失	4,758	2,954	△ 1,803	
税金等調整前四半期純利益	5,140	10,709	5,569	108.4
法人税、住民税及び事業税	3,331	3,275	△ 56	
法人税等調整額	112	398	285	
少数株主損益調整前四半期純利益	1,695	7,035	5,340	314.9
少数株主利益	472	441	△ 30	
四半期純利益	1,223	6,594	5,370	439.1

②連結業績の推移

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	純資産	連結子会社数
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	社
21年3月期第2四半期	324,140	12,670	9,810	3,945	209,521	154
22年3月期第2四半期	294,105	6,600	4,055	△ 1,036	198,752	146
23年3月期第2四半期	290,739	13,785	11,586	4,220	199,579	137
24年3月期第2四半期	278,194	10,772	8,496	1,223	201,107	136
25年3月期第2四半期	285,942	14,031	12,619	6,594	220,314	130

③セグメント別営業成績

		交通	運送	不動産	レジャー・サービス	流通	その他	計	調整額	連結
		百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
当第2四半期 累計期間	営業収益	79,057	67,294	34,660	26,312	68,122	31,575	307,023	△ 21,081	285,942
	営業費用	70,977	64,784	32,160	25,972	67,926	31,457	293,279	△ 21,367	271,911
	営業利益	8,080	2,510	2,500	339	195	118	13,744	286	14,031
前第2四半期 累計期間	営業収益	77,946	66,876	29,653	26,260	67,814	29,984	298,537	△ 20,342	278,194
	営業費用	71,915	64,435	27,161	26,798	68,335	29,519	288,166	△ 20,744	267,421
	営業利益	6,030	2,440	2,492	△ 537	△ 520	465	10,370	402	10,772
差 額	営業収益	1,110	418	5,007	51	307	1,591	8,486	△ 738	7,747
	増減率(%)	1.4	0.6	16.9	0.2	0.5	5.3	2.8	-	2.8
	営業費用	△ 938	348	4,998	△ 825	△ 408	1,938	5,112	△ 623	4,489
	営業利益	2,049	70	8	877	716	△ 347	3,373	△ 115	3,258
増減率(%)	34.0	2.9	0.3	-	-	△ 74.6	32.5	-	30.2	

④連結貸借対照表

科 目	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
流 動 資 産	177,402	165,522	△ 11,879
固 定 資 産	955,295	946,087	△ 9,207
有 形 固 定 資 産	840,074	835,236	△ 4,837
無 形 固 定 資 産	12,269	12,424	154
投 資 そ の 他 の 資 産	102,951	98,426	△ 4,524
資 産 合 計	1,132,697	1,111,609	△ 21,087
流 動 負 債	395,957	378,065	△ 17,891
固 定 負 債	516,493	513,229	△ 3,263
負 債 合 計	912,450	891,295	△ 21,155
純 資 産 合 計	220,246	220,314	67
負 債 純 資 産 合 計	1,132,697	1,111,609	△ 21,087

⑤連結有利子負債

	前 期 末	当 第 2 四 半 期 末	増減金額
連 結 有 利 子 負 債	620,273	611,024	△ 9,249

(注) リース債務を含む。

⑥減価償却費

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額
減 価 償 却 費	20,262	19,641	△ 620

(個別業績関係)

①個別業績

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
営業収益	49,431	49,825	394	0.8
営業費	42,908	42,749	△ 158	
営業利益	6,522	7,076	553	8.5
営業外収益	3,400	3,299	△ 100	
営業外費用	3,904	3,349	△ 554	
経常利益	6,018	7,026	1,007	16.7
特別利益	727	376	△ 350	
特別損失	3,585	2,655	△ 929	
税引前四半期純利益	3,161	4,747	1,585	50.2
法人税、住民税及び事業税	685	368	△ 317	
法人税等調整額	847	951	103	
四半期純利益	1,627	3,427	1,799	110.6

②個別業績の推移

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期第2四半期	51,532	7,785	7,372	3,848
22年3月期第2四半期	48,591	3,520	2,565	△ 843
23年3月期第2四半期	49,154	6,948	5,698	1,303
24年3月期第2四半期	49,431	6,522	6,018	1,627
25年3月期第2四半期	49,825	7,076	7,026	3,427

③個別運輸成績

科目	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
旅客収入			
定期外	21,809	22,500	3.2
定期	17,627	17,869	1.4
計	39,436	40,370	2.4
	千人	千人	%
輸送人員			
定期外	57,055	58,148	1.9
定期	117,661	119,786	1.8
計	174,716	177,934	1.8

(注) 定期外旅客収入には特別車両料金を含んでおります。

④個別貸借対照表

科目	前期末	当第2四半期末	増減金額
	百万円	百万円	百万円
流動資産	33,706	25,985	△ 7,721
固定資産	759,742	749,871	△ 9,870
資産合計	793,448	775,857	△ 17,591
流動負債	197,497	185,393	△ 12,104
固定負債	423,051	420,089	△ 2,962
負債合計	620,549	605,482	△ 15,066
純資産合計	172,899	170,374	△ 2,524
負債純資産合計	793,448	775,857	△ 17,591

⑤個別有利子負債残高

	前期末	当第2四半期末	増減金額
	百万円	百万円	百万円
個別有利子負債残高	468,989	461,898	△ 7,090

平成25年3月期通期の業績予想について

①連結業績予想

今後の経済情勢については、東日本大震災の影響から緩やかな回復が見られたものの、景気の先行きに対する不透明感は続き、依然として厳しい状況である。

当社グループの連結業績については、個人消費の低迷により流通事業、レジャー・サービス事業のマイナス要因が懸念されるものの、不動産事業が好調に推移する見通しであることなどから、全社的には増収の見通しであり、利益面では全社的な諸経費の削減効果も表れている。

これらの経済動向及び当社グループの最近の業績等を踏まえて、平成25年3月期通期の業績予想を下記のとおり見直す。

科目	今回予想	前回予想 (5月10日時点)	対前回予想 増減率	24.3期実績	対前期 増減率
営業収益	603,000	601,000	0.3	603,790	△ 0.1
営業利益	29,500	29,300	0.7	28,741	2.6
経常利益	25,400	24,600	3.3	24,615	3.2
当期純利益	12,000	12,000	-	11,000	9.1

②連結有利子負債残高の見込み

科目	今回予想	前回予想 (5月10日時点)	対前回予想 増減率	24.3期実績	対前期 増減率
連結有利子負債	599,000	610,000	△ 1.8	620,273	△ 3.4

(注) リース債務を含む。

③個別業績予想

科目	今回予想	前回予想 (5月10日時点)	対前回予想 増減率	24.3期実績	対前期 増減率
営業収益	99,300	99,100	0.2	98,147	1.2
営業利益	13,100	13,000	0.8	12,642	3.6
経常利益	11,000	10,000	10.0	10,409	5.7
当期純利益	4,600	3,700	24.3	4,150	10.8

④1株当たり配当金

	今回予想	前回予想 (5月10日時点)	24.3期実績
第2四半期	0.00	0.00	0.00
期末	2.00	2.00	2.00
年間	2.00	2.00	2.00